

♪ シルバー ♪ なかめ

No.139 2019.4.30

公益社団法人
中野区シルバー人材センター
編集：広報委員会
〒164-0011 中野区中央2-22-10-101
電話03-3366-7971 FAX03-3366-7998

ホームページ
<http://www.nakano-sjc.or.jp/>
会員数 合計：1,470名
〔男性：896名〕
〔女性：574名〕
(平成31年3月末現在)

リニューアル
しました!

たくさんの会員さんに機関誌を「手に取って、ページをめくって、見てもらいたい!」それが私達、広報委員会の目指すところです。より見やすく・分かりやすく情報をお届けするために、今月号からリニューアルしました。会員同士がつながる新コーナーも始まります。新たな試み、ご期待ください。ご意見・ご感想・ご投稿もお待ちしております。(広報委員会)

東京都
マラソン祭り

ボランティア
活動

寒さで震えた 東京マラソン2019



平成31年3月3日(日)。冷たい雨が降る中、過去最多の約3万8千人が参加した東京マラソン2019。
中野区からは34名の会員が参加し、9時30分から12時40分までの3時間、ランナーが走る姿を間近に感じながら、都立芝公園内でごみ分別のご案内や会場内の誘導といったボランティア活動を担当しました。
当日は朝から冷たい雨が降っていたせいか、来場者も少なかったのですが、気温が低く寒い中でも最後までしっかりと活動してくださいました。ご参加いただいた会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。



家事援助勉強会

「介護現場における家事の基本」

『魔法の言葉』って？

2月20日(水)、33名の家事援助会員が参加し、「介護現場における家事の基本」というテーマで勉強会を開催しました。講師は東中野地域包括支援センターの介護支援専門員、吉田和紀氏と、

介護事業所「ケアセンター希^{のぞみ}」の戸澤由希子さんです。介護現場での家事援助は、シルバーの継続家事援助とは少し異なります。その中で、特に戸澤さんの『魔法の言葉』(これはお客様からいろいろなことを依頼されたときに使う言葉で、「やって差し上げたいのはやまやまですが、プランにないんです」と優しく笑顔でお話してください、というア

ドバイスです)を参考にしたい、といった感想を数名の会員からいただきました。

今後も家事援助の会員の皆様に役立つ楽しい企画を考えています。ぜひご参加ください。



自転車駐車場管理業務 就業会員向け 接客・接遇研修

「こんな時には
どうしたら?」
ロールプレイングで
学びました。



毎年実施している駐輪場業務就業会員向けの接客接遇力向上研修が2月14日に実施されました。午前・午後の2回に分かれて合計90名近くの会員が参加しました。

接客・接遇の重要性を再確認・再認識する機会として毎年実施し全員に受講していただく研修です。今年はロールプレイングを導入し、設定された事例についての

ように接客対応するかをグループごとに話し合いました。実際に会員がお客様役と管理人役に分かれて全員の前で発表、他のグループがその対応について感想を述べるという新しい形で実施されました。

現場の実体験を踏まえた対応に、皆さん共感したり感心したりと、新しい内容で充実した研修でした。





冬名残の寒風が吹き抜ける3月8日夕方、『薬師あいロード』商店街の真ん中に、ほっこりした暖かいスペースが出現しました。

中野シルバーが設置を目指す『シルバーサロン（仮称）』の第1号テスト店です。

新井班のみなさんがお茶の用意をし、ニュースを知ってかけつけた会員さんへ「まず一杯」と勧めれば、店の前ではシルバーへの勧誘やご利用を訴えるパンフを配りました。

「うれしいなあ」「いいなあ」と会話が弾んだところで地元の商店主さんも合流、『ふるさと談義』に花が咲きました。

「こんな場所が欲しかった」・・・わずか数時間のオープンでしたが、感触は上々、商店街の空き店舗対策とも連動出来そうで、次の展開が待ち遠しいテストとなりました。あなたの街で『こんなところがある』といったお勧め情報をお待ちしています。



2年目を迎えた派遣事業「保育補助」

～ 12か所の保育園等で会員が就業中 ～



会員の知識や経験等を生かし、身近な地域で多様な就労機会を提供するため、昨年度から開始した派遣事業「保育補助業務」は、本年4月で2年目を迎えました。4月からは、新規4か所を加え12か所の保育園等で業務がスタートしています。



この業務は、養育経験のある会員に、子供の遊び相手・身の回りの世話・散歩の付添い・掃除などの補助的な業務にあたっていただき、区における保育環境向上のためのサポート役をお願いするものであり、人手不足が社会問題となっている保育園の環境改善にも貢献しています。

やよいこども園担当の狩野会員は、「始めたころはいつまで続けられるか不安でしたが、約半年が経過した今、廊下や階段等を清掃していると、何人もの子供たちが飛びついてくるんです。かわいいですよ、子供たちは。今ではやってよかったと思っています」と嬉しそうに話していました。

保育補助業務は、会員の人材活用というシルバーが目指す地域社会への貢献であり、会員の働きがいや生きがいづくりにも寄与しているものと感じています。（派遣専門員：服部敏信）

空き家の整理でお宝発見！

大和班 山崎直明



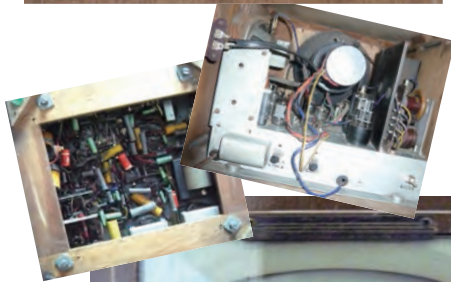
空き家の荷物整理の
仕事で、古いテレビが粗
大ごみとして出されま
した。これは貴重なも
のではないかと感

博物館に連絡。早速、チーフエンジニアが
拙宅を訪れ、「博物館には同型機は1台
しか所蔵していないので、ぜひ寄贈してほ
しい」との申し出があり寄贈しました。



この「コロムビア7-T1」
を真空管式テレビマニアで所
持している人がいますが、改
造されており、寄贈したテレ
ビは発売当初そのまま、そ
の点も評価されました。な
お、粗大ごみとして出された
お客様には、NHK
放送博物館へ寄
贈した旨、連絡
しました。

じた私は、お客様の了解を得て家
に持ち帰り、インターネットで検索。
このテレビはコロムビアが昭和29年
5月に製造販売した「7-T1」
で、当時はブラウン管などなく真空
管式7インチが最大で、勿論、部品
配列の基盤などなく、数百の部品
を全てハンダ付けという全くの手作
りテレビで大変高価なものでした。
ちなみに、テレビを最初に製造販売
したのは早川電気で、販売価額（7
インチ）は、17万4千円でした。当
時、公務員の初任給が5千円であり
（現在の初任給は、40倍の20万円）、
現在の貨幣価値に換算すると、約
7百万円となり、高級外車が買え
るほど高価なものでした。



カミヤ

参考

1. テレビ放送開始：昭和28年2月1日
2. 開始時の契約件数：866件
（うち都内契約者：644件）
3. 契約者のうち、482件が自作の受像機で視聴
4. 視聴料：200円
5. 当日一緒に作業した会員（暮らしのサポート隊）：
高橋忠男会員、岩崎秀夫会員

投稿の募集 について

「会員のひろば」ではみなさまからの投稿をお待ちしています。

■会員投稿（内容は自由） ■「質問コーナー（Q&A）」

※選考・編集については広報委員会にご一任ください。 ※掲載された方には粗品を差し上げます。

【送り先】〒164-0011 中野区中央2-22-10-101

（公・社）中野区シルバー人材センター広報委員会あて

父恋し 86歳

東部班 小野 光



私は父を知らない。
私が1歳の時、父は亡くなつた。戸籍謄本には父親の名前の上に『亡』と記してある。

家を出、故郷に帰った。

母は父のことを私には何も話そうとはしなかった。その理由で思い当たるのは、昔の謄本に私を『庶子』と記してあること。つまり正式な結婚を経ての子ではないということだ。ちなみに普通は『嫡子』と記してあった。今の戸籍謄本には、このような欄は無い。

人生の節目々々に戸籍謄本を出す必要がある。就職の際には特にそうだ。母は「戸籍謄本は出さないで。忘れたでも何でも理由をつけて」と懇願した。『庶子』がよほど恥ずかしい経歴だと思ひ込んでいたようだ。私もその気持ちを察して、「すみません、忘れていました」で何とか切り抜けていた。しかし、一流企業には通用せず、それで駄目になったところがいくつかあった。今となっては、どうでも良いことだ。

母は詩人の中原中也さんと幼な友達で、文芸雑誌に投稿していたそうだから、型に外れた結婚も許容範囲であったのだろう。

父の母、祖母にあたる人から、毎月『幼年クラブ』が送られてきた。小学校に入る時、私は父の姓から母の実家の姓に変わった。その時から祖母

との交流は途絶えた。母の父、慶応二年生まれの祖父は私を不憫だと思っていたのだろう、毎月、小旅行に私を誘った。私は父という存在をいつかまったく意識しなくなった。

だから父がいけないことは私にとって何の不便もなく、グレルでもなく、淋しがるでもなく、高校・大学と、ごくごく順調に歩みを進めた。大学の学費は、奨学金とバイトで全部まかなった。しかし苦学生だとか、親のせいだとはまったく思わなかった。就職の時に少しマイナスはあったが、結果的には良い会社、内容のある仕事に当たり、職を辞してから、シルバーをはじめ、地域に仲間がたくさんできて、充実した人生を送っている。そんな私が86歳になって、何故父親探しを始めようとしたのか。特に深刻な理由は無い。85年前に亡くなっているから、人間関係の修羅場はあろう筈がない。

私は父の写真を見たことがない。どんな生まれ、経歴を持った人か知らない。おまけに墓所さえ知らない。よくもこんなに『ない』が続くものだ。その『ない』をひとつでも解消したいと思ったただけだ。

86年の生命と資質の半分は父親が与えてくれたものだ。亡き父に「ありがとう」と感謝し、墓前に立て『こんな人生を送りましたよ』と報告したい。

4月、この号が出るころ、私は父を探しに、出生地と謄本に記載されている名古屋へ向かう。

次回は、東部班の
わたなべかみひと
渡辺上人会員です。

新コーナー 質問コーナー「Q&A」●会員からのご質問に事務局が分かりやすくお答えします。

Q 「シルバー人材センターは何歳まで働けますか？ 定年がありますか？」

A 基本的に定年はありません。お客様から交代の申し出がなく、また、就業しているお仕事の内容や仕上がり等に問題がなければ、年齢にかかわらず働くことができます。

平成30年度事故発生状況

平成30年度の事故発生状況は下記の通り、傷害事故21件・賠償事故6件の合計27件でした。

昨年、一昨年に比べて事故件数が増加し、特に傷害事故の件数が多くなってしまいました。幸いにして中野区シルバー人材センターでは重篤事故の発生はありませんでしたが、都内のシルバー人材センターでは死亡事故も発生していることから油断は禁物です。特に件数が増加すると重大事故の発生確率が高まるという法則もあります。

シルバー人材センターでの就業にあたっては、「安全はすべてに優先する」という大原則を忘れず、今後も安全就業にご協力をお願い致します。

事故件数一覧

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
傷害事故	21	14	10	16	20
賠償事故	6	7	8	9	10
合計	27	21	18	25	30

事故件数は減少傾向だったものが再び増加。特に傷害事故の増加が顕著。

平成30年度 傷害事故内訳

転倒	8
交通事故	5
墜落転落	2
無理な動作	2
虫刺され	2
その他	2
合計	21

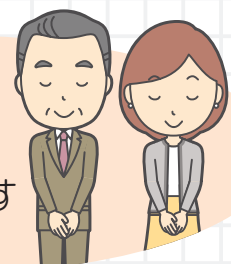
- ・転倒事故が一番多く発生。交通事故もすべて自転車での転倒だったので、これを含めると13件が転倒に関わる事故となる。
- ・自転車では傷害事故にも注意が必要だが、相手に怪我をさせたり物を壊してしまう賠償事故にも十分な注意が必要。
- ・虫刺されや転落事故もあり、安全就業基準や準備など、基本に立ち返った安全確認が重要。

平成30年度 職群別事故発生件数

	傷害	賠償
除草	5	0
広報紙等配布	4	0
家事援助	3	3
自転車関係	3	1
マンション清掃	2	0
通学路児童見守り	1	0
施設清掃	1	1
植木	2	1
合計	21	6

職群別での事故発生件数は上記の通り。広報紙配布での傷害事故が多発。

安全就業にご協力をお願い致します



平成31年度(2019年度) 会費の天引きについて

作業月	支払年月日
平成31年 3月分 配分金	平成31年 4月16日
4月分 配分金	令和元年 5月16日
令和元年 5月分 配分金	6月17日
6月分 配分金	7月16日
7月分 配分金	8月16日

会費の天引き

2,000円

(4・5・6月配分金のうち最も早い
配分金より天引きされます)

※会費は、年1回だけ天引きします(4・5・6月配分金に限ります)。
天引きされず、会費が未納の方に対しては、7月下旬に振込用紙をお送りしますので、お近くの郵便局よりお支払いください。

※シルバー保険料一部負担の天引きは、毎月、就業された方から100円天引きします。

今後の予定

5月

- 会員懇談会(全14班)
- クリーンキャンペーン
(令和元年5月30日)

6月

- 定時総会(令和元年6月21日)
13時30分～
なかのZERO小ホールにて

7月

- 区役所1階ロビーでのPR活動
- 一時休憩所「涼み処」オープン
(本部会議室を開放します)

クリーンキャンペーン (ボランティア活動)の 実施について



恒例の“ごみゼロの日”駅頭クリーンキャンペーンを5月30日(木)に実施します。中野区内及び隣接各駅周辺の環境美化啓発活動・清掃活動を行い、環境美化活動を推進しながら、シルバー人材センターの社会貢献活動を区民等にアピールします。皆さまのご参加ご協力をお願いいたします。

1. 実施日 令和元年5月30日(木)
2. 実施時間 午前7時45分～8時30分
(45分間程度)
3. 実施主体 シルバー人材センター地域班
(全14班)
4. 担当駅 下表のとおり

駅名	担当地域班	地域班長
中野駅	昭和班	望月武
東中野駅	東部班	野尻寿彦
中野坂上駅	弥生班	寺内伸好
新中野駅	桃園班	高木宏
中野新橋駅	鍋横班	後藤義光
中野富士見町駅	南中野班	臼田欣司
落合駅	上高田班	松井豊
新江古田駅	江古田班	大塚幸子
新井薬師前駅	新井班	山田几平
沼袋駅	沼袋班	秋永健
野方駅	野方班	伊倉功
都立家政駅	大和班	勝岡鉦一
鷺ノ宮駅	鷺宮班	石川和弥
富士見台駅	上鷺宮班	三田村宏

5. 実施内容 ①駅周辺の清掃活動
②駅周辺でのティッシュ等配布
6. 参加申込 所属する班の班長に、5月17日(金)までに、お申し出ください。

事務局担当【斎藤・小林・長谷川】

平成31年度(2019年度)事業計画

平成31年度(2019年度)事業計画は、平成31年2月28日開催の第12回理事会で承認されました。ここでは、センターにおける事業運営の基本方針である事業計画の概要について紹介します。

I はじめに

では、人生100年時代を迎えている今日、生きがい就労、地域貢献をめざすセンターの社会的役割はますます重要となっております。派遣事業の拡充を含め高齢者の就業ニーズに対応したシルバー事業は、より一層充実・発展させていく必要があります。公益社団法人としての社会的役割をしっかりと果たしていくとともに、関連する機関や団体等とも連携する中で、地域からより一層期待される魅力あるセンターづくりに向け、会員及び役職員が一丸となって取り組んでいくとしています。

II 基本方針

では、

次のような基本方針に基づき、豊富な知識と経験を活かしシルバー事業を積極的に実施するとしています。

- 1 会員の就業についての普及・啓発活動を推進
- 2 会員に適した就業機会の確保・提供
- 3 会員の就業についての知識・技能向上のための講習等を実施
- 4 安全就業についての啓発・指導の徹底と安全就業対策の推進
- 5 会員の入会促進とともに、会員相互の連携を深め、社会貢献活動を推進
- 6 多様な就業機会を確保するため、シルバー派遣事業を着実に拡充

III 事業計画について

では、

会員の豊かな経験と知識を活かした、質の高いサービスの提供

に努めるとともに、区民の暮らしに身近な就業を通じて地域社会に貢献できるよう、「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、次の事業を実施するとしています。

○契約目標 6億8千5百万円

42,000人

○就業目標 年間就業延実人員 17,000件

1. 広報・宣伝活動の推進

(1) 会員数目標(年度末会員数) 1,620人

(2) 広報・宣伝活動の推進

○「シルバーなかの」は、広報誌に対する会員アンケート調査及び広報委員会での検討結果を参考に、よりわかりやすく魅力ある紙面に刷新し、コンテンツの見直し等も行います。

○センターの創立40周年を記念して、記念式典及び記念事業を開催します。開催日は、2019年10月1日(火)を予定しています。

○センターと同世代が多い「生涯学習大学」講座などの受講生向けに、シルバー活動を紹介する内容を、カリキュラム(受講科目)に盛り込み、センターのPR・会員募集活動の一環として取り組みます。

2. しごとの開拓と提供

(1) 就業確保の取組み

○商店街の空き店舗スペースを、センターPRや会員同士の交流サロンの場として活用し、会員による自主運営につなげます。

(2) 家庭・子育て事業の推進

(3) 職群班活動の充実と人材育成

(4) 暮らしのサポート隊の充実

(5) シルバー派遣の拡充・推進

(6) 事務系職種の拡大

(7) 先進センター事例調査

(8) 「お客様満足度調査」の実施・検証・今後活用

3. 就業相談と各種研修の充実

- (1) 就業相談の充実
- (2) 新規会員の登録と研修の充実
- 30年度に北部及び江古田分室で開催した「出張・入会登録説明会」については、今後も計画的・効果的に開催していきます。
- (3) シルバー派遣にかかる情報提供と研修の実施
- (4) 各種研修の実施

4. 適正就業への取組み

請負及び派遣契約の内容点検、契約書や仕様書の整備、就業期間設定基準の見直し、長期間就業の是正など

5. 安全就業対策等の推進

高齢者の就業にあたっては、就業の安全が最優先であり、安全就業対策の取組みとその実践が重要です。**センターの傷害事故と損害賠償事故発生件数は増加傾向にあり**、事故防止に向けたより有効な対応策を講じる必要があります。そのため、事故ゼロをめざし、安全就業巡回パトロールを拡充するほか、事故の未然防止強化策の導入など、安全管理委員会を中心に、引き続き事故防止対策に徹底的に取り組みます。

(1) 安全就業の徹底

○ 安全管理委員会が中心となり、事故原因などを深堀分析し、**KYT(危険・予知・トレーニング)による危険予知の事前チェック**など、事故の未然防止策の導入、就業現場視察や事故を起こした会員への指導、就業自粛などの措置を講じます。

○ 就業面の安全にも考慮し、**健康づくりやシルバー体操普及も視野に入れた、会員及びシニア向け「へば」健康エクササイズ事業**の検討に着手します。

(2) 事故防止対策

① 安全保護具(ヘルメットや安全ベルト)の着用徹底

② 熱中症対策への取組み強化

- ③ 安全就業委員による作業現場の巡回指導拡充
- ④ 「自転車の正しい乗り方」の実技講習等の開催

6. 地域班活動の推進

センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員自らが自主的・主体的に組織運営を行い、会員同士が助け合う団体です。また、センター事業が地域社会に理解・評価され、地域社会に貢献することは、センターの発展のために不可欠なことです。そのため、地域班によるクリーンキャンペーンや道路清掃等の地域貢献活動が、地域社会の理解を得る上で効果的であり、**地域班の会員一人ひとりが地域活動の意義を理解し、継続的に実践することが重要です。**

また、**班活動を通しての会員相互の交流を深めることも重要です。**14班それぞれの班では、班長、副班長、班連絡員等の世話役が中心となり、特色ある活動を展開しています。

こうした取組みについては、刷新される「シルバーなかの」の紙面を通じて、情報提供に努めます。

IV 公益社団法人として

センターは、健康で社会参加への意欲ある概ね60歳以上の区民の誰もが入会でき、区民生活にかかわるさまざまな就業を通しての活動が、高齢者の福祉の増進に寄与するものとして、公益社団法人に認定されたものです。

センターが創立40周年を迎える31年度(2019年度)を契機に、引き続き社会経済状況の大きな変化を見据えつつ、会員の豊かな経験と知識を活かした、質の高いサービスの提供と自立的な経営を確立し、顧客である区民や会員にも信頼される、魅力のある公益社団法人としてさらなる発展をめざします。

※事業計画本文については、事務局本部または事務局ホームページにてご覧いただけます。

平成30年度 第13回理事会

平成31年3月22日開催

今月は、4名の入会者が承認されました。

平成31年2月の事業実績は、前年同時期と比較して9.2%の増でした。

今回の理事会では、

- 平成31年3月入会者の承認について
 - 理事・監事選考委員の選任について（案）
 - 平成30年度下半期職務執行報告について
- 審議・報告いたしました。

ホームページの 就業情報について

就業情報のページは
ユーザーIDと
パスワードが
必要となります。



ユーザーID【 **nakano** 】
パスワード【 **7998** 】

ホームページURLは
<http://www.nakano-sjc.or.jp/>
です。



ホームページへのアクセスはこちらから

平成31年度(2019年度) 収支予算書〔概要版〕

(平成31(2019年)年4月1日から令和2年(2020年)3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①受託事業収益	662,000,000
②自主事業収益	19,790,000
③労働者派遣事業等受託収益	3,120,000
④受取会費	3,250,000
⑤受取補助金等	76,180,000
⑥シルバー保険保険料収益	1,308,000
⑦特定資産運用益	1,000
⑧雑収益	101,000
経常収益計	765,750,000
(2) 経常費用	
①事業費	746,345,614
受託事業費	575,000,000
自主事業費	16,936,000
事業開拓事業費	52,525,000
広報事業費	972,000
地域活動事業費	3,082,000
家庭・子育て事業費	1,672,000
労働者派遣事業等受託事業費	665,000
事業管理費	95,493,614
②管理費	24,441,386
経常費用計	770,787,000
当期経常増減額	△ 5,037,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,037,000
一般正味財産期首残高	88,000,000
一般正味財産期末残高	82,963,000
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	82,963,000

2019年度 配分金振込日



就 業 月	配分金振込日
2019年 4月就業分	5月16日(木)
5月就業分	6月17日(月)
6月就業分	7月16日(火)
7月就業分	8月16日(金)
8月就業分	9月17日(火)
9月就業分	10月16日(水)

就 業 月	配分金振込日
10月就業分	11月18日(月)
11月就業分	12月16日(月)
12月就業分	2020年 1月16日(木)
2020年 1月就業分	2月17日(月)
2月就業分	3月16日(月)

2019年度 リサイクル自転車 販売日



販売日(原則、毎月第3木曜日)

5月16日(木)

6月20日(木)

7月18日(木)

●販売場所：中野四季の森公園内

●販売価格：① 8,500円

② 11,500円

③ 13,000円

※ギアやオートライトの有無によって値段が異なります。

●詳細については事務局までお問い合わせください。

2019年度 入会登録説明会 開催日



開催日	理事会承認日
5月14日(火) 5月20日(月)	5月23日(木)
6月12日(水) 6月18日(火)	6月27日(木)
7月11日(木) 7月19日(金)	7月25日(木)

センターでは会員を募集しています。
ご近所やお知り合いの方にお声かけをお願いします。
詳細について事務局までお問い合わせください。

編集後記



人生100年時代・・・なるほどナットク!

会員の平均年齢が75歳を超えたのですから。40年前、中野シルバーの創立当時のデータは手元にありませんが、おそらく平均年齢は65歳前後だと思います。4年で1歳ずつ増えていく・・・

この『シルバーなかの』を、そんな今を生きる会員さんを結ぶ広場にしたい、編集に携わる私たちはそう考えています。

スマホをはじめ、多くのメディアが速さと簡便さを売り物に私たちを取り込もうとする中、シルバー会員にとって必要であり、面白く、楽しいメディアにしよう、こう考えて衣替えしてみました。みなさんが期待されている線まで届きましたでしょうか?「まだまだ」と

いう声が聞こえてきます。その声に励まされて、これからも、もっともっと楽しい紙面を創っていきます。

会員のみなさん、スマ

ホのLINEのように『シルバーなかの』で語り合いましょう。字を書きたくなければ、お話をしましょう。よろこんで聴きに行きます。

会員さん同士、そして地域をつなぐ『シルバーなかの』であり続けていきたいと願っています。
(広報委員会 小野)



雨
の
桃
園
川
散
策

歴史探訪 2月6日



桃園班
桂田 栄治

南部ブロック
共同企画
「見学」

今回の案内人は・・・



東部班
ままだ ひろし
儘田 宏 会員 でした。

経 歴

- 東京都認定
小学生地域安全マップ作成指導員
- 防災士
- 中野区地域活動
コーディネーター
- 認知症サポーター
- 中野区 ものしり博士 他

人生のモットーは
「楽しく」

数々の資格や経歴をお持ちの儘田会員。

お母様が認知症になられたことをきっかけに、ご自身で学び、「認知症サポーター」の資格を取得されたそうです。

また、とにかくものしり!!

興味を持たれたことは、図書館や歴史民俗資料館等に足繁く通い、とことん掘り下げるそうです。

そんな様々なお顔を持つ儘田会員の人生のモットーは、「楽しく」とのこと。毎日意識して「笑う」ことを実践されているそうです。

センターのキャッチフレーズ「人生をたのしむ。自分らしく。」

儘田会員もまさに!!

※儘田会員は「地域の歴史」「地域の防災」「地域の防犯」「認知症」というテーマで講演ができるそうです。会員懇談会などでお話を聞きたい方は事務局までお問い合わせください。

今は暗渠^{あんきょ}となり気付く人も少なくなった川、大久保通り沿いにある緑道がそれで、橋の名残もたくさんで多くの歴史を物語ってくれます。今回、東部班の儘田^{ままだ}会員と一緒に探訪しました。

お犬様政策の再評価。八代将軍が桃園と名付け植えた桃の木は何処へ行った? 大正ロマンの申し子のアトリエサロンに集った芸術家たち。『智恵子抄』の作家、高村光太郎も滞在。新渡戸記念病院の生い立ち。佐久間ダムの原点(?)。中野と鎌倉街道(「中の道」)のコースは、中野区内を縦断します)。堀越学園と芸能の脈絡。宮前公園前の布袋様。氷川神社と周辺地域。隅田川や神田川下流で発展した染め物。白い布を持ち込めば着物を仕立てられたという「生地^{きじ}から仕立までの一貫システム」。幽玄の世界。桃園小学校の仲間たち。橋にまつわる数々の歴史。勉強しました。



※詳しく知りたい方は『シルバーなかのNo136(2018.7.31発行)』で、儘田宏会員から「桃園川・緑道の散策」という投稿をいただいておりますので、ご覧ください。